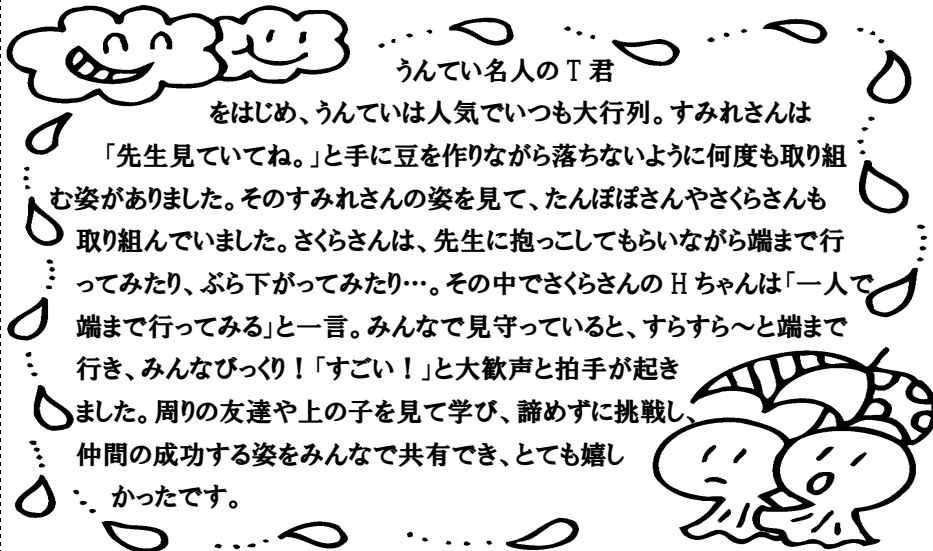


1学期 明るい子(交わりの参加する生活) 3歳以上児グループの姿

どんぐりグループ；「どんぐりさん・・・お集まりだよー」と保育者が旗を持ち声をかけると、年長児が「先生、僕が旗を持ってみんなを呼んでくるね！」と園庭を歩きながら友だちに声をかけ集めてくれました。また少し不安そうにしていた新入児もいましたが、年長児が「一緒に遊ぼう」と優しく手を繋いでくれ、少しずつ笑顔が見られるようになりました。外遊びが大好きな子どもたち！4月・5月はかけっこやダンスを楽しみました。本堂の長い距離も「疲れた」と言いながらも笑顔で「もう一回走りたい」とリクエスト・・・子どもたちの中から「手をいっぱい振ると速く走れるよ」とアドバイスしてくれる姿もみられました。また「おおかみさんいま何時？」の集団遊びは年長児はすでに経験があるので楽しみながら必死になって逃げていましたが、年少児の中には「こわい！」と途中で止まってしまう子や捕まり悔しくて泣いてしまう子、様々な姿を見せてくれました。今後も大きい子と一緒にルールのある遊びを取り入れ、ルールを教え合いながらみんなで楽しんでいきたいと思ひます。1学期は年長児がいろいろなところでお手本になってくれたり、優しく世話をしてくれたりと大活躍。2学期も年長児を中心にみんなで一緒に過ごす楽しさを色々な遊びを通して味わっていききたいと思ひます。



うんてい名人の「君」
をはじめ、うんていは人気でいつも大行列。すみれさんは「先生見ていてね。」と手に豆を作りながら落ちないように何度も取り組む姿がありました。そのすみれさんの姿を見て、たんぼぼさんやさくらさんも取り組んでいました。さくらさんは、先生に抱っこしてもらいながら端まで行ってみたり、ぶら下がってみたり…。その中でさくらさんのHちゃんは「一人で端まで行ってみる」と一言。みんなで見守っていると、すらすら～と端まで行き、みんなびっくり！「すごい！」と大歓声と拍手が起きました。周りの友達や上の子を見て学び、諦めずに挑戦し、仲間の成功する姿をみんなで共有でき、とても嬉しかったです。

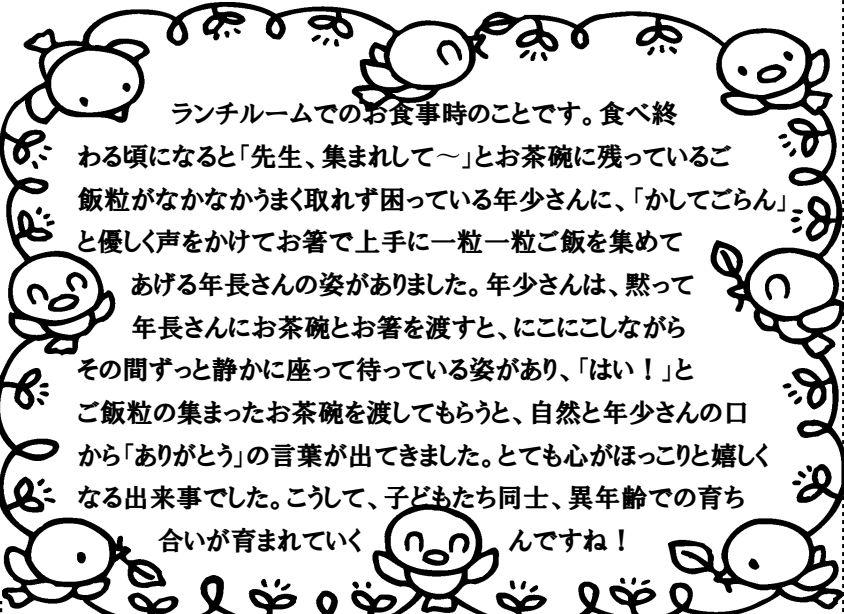
ぶどうグループ・・・ 4月当初、ぶどうグループでの集まりでは新しい環境から泣く子もいましたが、GW明けからお気に入りの友だちと手を繋ぐことで不安にならずに少しずつ過ごせるようになってきました。また、楽しい集まりになるように、新しい絵本やぬりえ、パペットや人形など用意し、楽しいことが次にあると、興味を持って集まりに参加してくれていました。誕生日会に参加する子どもたちは、大人の話をしゅくり聞いていたり、押し花の花の名前は、すみれ組さんだけでなく、たんぼぼ組さんも知っている子が多く、いつも和やかでゆったりとした会になっています。まだまだ長時間座って「祝う」ということが難しい子もいますが、座る場所や保育者も傍に寄り添うなど工夫しながら、友だちの誕生日を「祝う」気持ちも育っていかれたらと思ひます。また、最近では盆踊りを楽しみ、すみれ組さんの踊る姿を真似て、年中少児もうちわを持って踊っています。2学期にはふれあい広場もあり、グループでの時間も増えてくると思ひますので、みんなが一つになること、みんなで一緒にやることの楽しさなども経験の中で身に付けていってもらえたらなと思ひます。



グループでの活動が始まり、集まりにも少しずつ慣れてきた5月。自分の好きな遊びの時は集中している子も、グループでの集まりに興味がないと、集まりの声を掛けても、なかなかみんなの輪に入らない姿がありました。そこで、その子たちが好きなウルトラマンやドレス、ハートや指輪などを、「今日は〇〇を折り紙で作るから来てね！」と紹介してから声をかけてみました。すると、さくら組さんを始め、ほとんどの子が集まりや食後のお腹休めにスムーズに参加し、自分で折る、保育者と一緒に折る子など、そこからグループでの生活も興味を持って参加してくれるようになり、今では座って話しも良く聞けるようになってきました。今後も楽しい集まりになるように色々考えていきたいです。

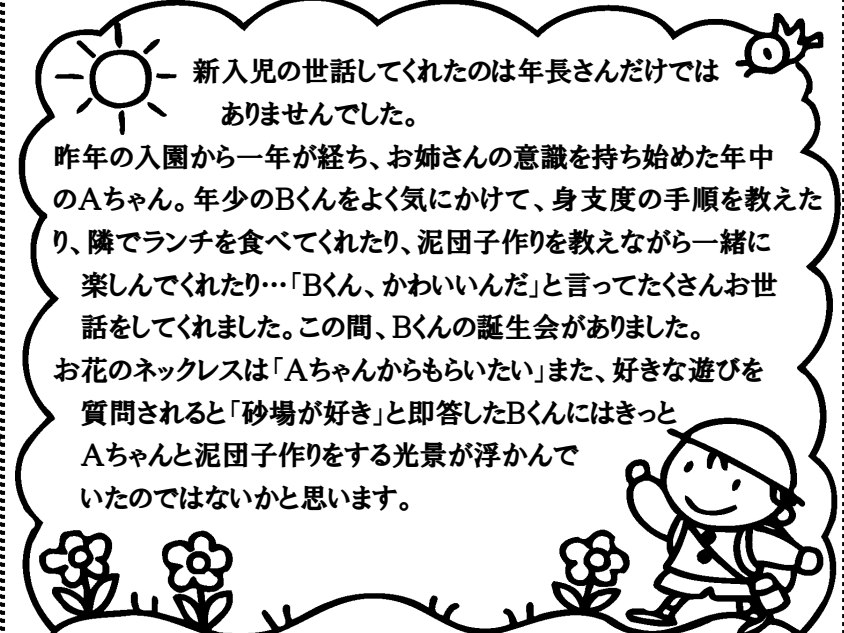
くるみグループ；毎日くるみさんの旗を園庭に立てると、いろいろなところから「くるみさん、おあつまりでーす！」と声上がり、お互いに誘い合って集まってきてくれる子どもたち。入園当初は不安そうな顔をしていた新入園児のお友だちも、年中長児のお兄さんお姉さんたちが優しく声をかけてくれたり、手をつないでくれたりすることで、笑顔がたくさん見られるようになってきました！年長児のお友だちが、素敵な姿をお手本としてたくさん見せてくれることで、くるみさんでのお集まりをしているときのみんなの様子も、とっても素敵になってきています。

みんなで身体を動かすことが大好きで、かけっこやかくれんぼ、ダンス大会やいろいろなゲームなどを日々楽しんでいます。特に最近では、「だるまさんがころんだ」から発展して、「だるまさんがねころんだ」のゲームに熱中しているくるみさんたちです！様々な集団遊びや、お友だちのお誕生会なども経験していく中で、みんなで過ごすことの楽しさを知りながら、お友だちへの思いやりも育てていかれたらと願っています。



ランチルームでのお食事時のことです。食べ終わる頃になると「先生、集まれして～」とお茶碗に残っているご飯粒がなかなかうまく取れず困っている年少さんに、「かしてごらん」と優しく声をかけてお箸で上手に一粒一粒ご飯を集めてあげる年長さんの姿がありました。年少さんは、黙って年長さんにお茶碗とお箸を渡すと、にこにこしながらその間ずっと静かに座って待っている姿があり、「はい！」とご飯粒が集まったお茶碗を渡してもらおうと、自然と年少さんの口から「ありがとう」の言葉が出てきました。とても心がほっこりと嬉しくなる出来事でした。こうして、子どもたち同士、異年齢での育ち合いが育まれていくんですね！

りんごグループ；「りんごさんお集まりだよ～！」と声がかかると、年長児がりんごグループの旗を持ち、園庭を歩きながらお友だちに声をかけ集めてくれました。少し不安そうにしていた新入園児も、年長児が優しく声をかけたり手を繋いでくれたりしたこともあって、少しずつ笑顔が見られるようになりました。お集まりをすると、「みんなで一緒に遊びたい！」という声が聞かれ、オオカミさん今何時？や、かくれんぼ、かごめかごめなど、身体を沢山動かして集団遊びを楽しみました。グループで活躍してくれるのはやはり年長児のお兄さんお姉さん！集まりでは皆がそろうまで交代しながら前に立って手遊びを披露してくれる子がたくさんいました。また、身支度やランチルームでの食事など、一つ一つ丁寧に教えてくれました。そのおかげで、園生活に慣れ、様々なことにチャレンジしようとする意欲が少しずつ育ってきています。これからも、子どもたちの意見を取り入れながら興味や関心を広げ、皆で過ごす楽しさを味わっていかれることを願っています。



新入児の世話をしてくれたのは年長さんだけではありませんでした。昨年入園から一年が経ち、お姉さんの意識を持ち始めた年中のAちゃん。年少のBくんをよく気にかけて、身支度の手順を教えたり、隣でランチを食べてくれたり、泥団子作りを教えながら一緒に楽しんでくれたり・・・「Bくん、かわいいんだ」と言ってたくさんお世話をしてくれました。この間、Bくんの誕生会がありました。お花のネックレスは「Aちゃんからもらいたい」また、好きな遊びを質問されると「砂場が好き」と即答したBくんにはきっとAちゃんと泥団子作りをする光景が浮かんでいたのではないかと思います。